

信州の高山帯のいきものを守る

～絶滅のおそれのある高山遺存種の保護回復に関する調査研究～



長野県環境保全研究所 自然環境部

長野県の高山帯は、世界的な分布の南限であるライチョウをはじめ、高山植物の固有種も生育する貴重な生態系です。この高山帯のいきものの絶滅の危機からの回復を目指して研究しました。

なぜ研究が必要なの？

<現状と課題> 長野県の高山帯生態系は、ニホンジカによる高山植物採食の影響や気候変動の影響による変動の激化が懸念されています。

<目的> そうした危機にさらされ、信州の高山帯に生育・生息するいきものの中でも、特に絶滅のおそれの高い生物の保護回復に向けて、その取組に不可欠な生態情報の収集と緊急的な保全対策を図ります。

どうやって研究するの？

① GPSロガーを活用したライチョウの行動と環境利用特性の解明



② 八ヶ岳固有種ヤツガタケキンポウゲの緊急的な生息域内保全



ヤツガタケキンポウゲ
(キンポウゲ科)



ヤツガタケキンポウゲ
の採食痕とシカ糞

③ 高山帯の環境変動のモニタリング

- 北アルプス（爺ヶ岳周辺）高山帯へのニホンジカ・イノシシの侵入状況をセンサーカメラで調査
- 登山者投稿アプリ「ライポス」で広域のライチョウ分布情報を収集・分析



長野県「ライチョウ保護
スクラムプロジェクト」



北アルプス爺ヶ岳の
高山帯に侵入したニホンジカ

これまでに分かったこと

- ① ライチョウの行動と環境利用特性 ➤ GPSロガーによるライチョウ行動圏の把握に成功
- ② ヤツガタケキンポウゲの緊急的な ➤ シカ柵設置により本種の野生絶滅を緊急的に防止
生息域内保全
- ③ 高山環境変動モニタリング ➤ ニホンジカが12年連続で北アルプスの高山に侵入